

令和 5 年度 第 2 回
旭川市音楽堂等運営協議会

日時 令和6年3月22日（金）
時間 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分
場所 旭川市大雪クリスタルホール 2 階
レセプション室

令和5年度 第2回 旭川市音楽堂等運営協議会 会議録

【日 時】 令和6年3月22日（金） 午後6時30分～午後8時00分

【会 場】 旭川市大雪クリスタルホール 2階 レセプション室

【出席者】 委員：上野委員，熊谷委員，児玉委員，佐野委員

杉江委員，内藤委員，松村委員，渡邊委員

市側：社会教育部長，文化ホール担当課長，

大雪クリスタルホール館長，主査1名，係員1名

【次 第】

- 1 委嘱状交付
- 2 開 会
- 3 社会教育部長挨拶
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 議 事
- 6 その他
- 7 閉会

【内 容】

5 議事

議 長：議事（1）令和5年度上半期旭川市大雪クリスタルホール利用状況について，事務局から説明願います。

事務局：（1）令和5年度上半期旭川市大雪クリスタルホール利用状況について説明。

～会議資料1ページ～

議 長：事務局から，（1）令和5年度上半期旭川市大雪クリスタルホール利用状況について説明がありましたが，御意見がありましたら御発言をお願いします。

委 員：この数字をどう捉えればいいのか。コロナ禍が明けて利用者数が上がるのは想像がつくが，ホールを運営，経営する上でこの数字が採算ベースでいいのか悪いのか。

事務局：公共施設なので採算ベースで黒字になるような利用状況の設定にはなっていない。半分が税金，半分が利用料という考え方。目標は設定していないが，利用率を見るとまだ余地がある。音楽堂はコンサート

等土日の稼働が多く、平日の稼働は低い状況ではあるのでそこを上げる努力は必要と考える。

委員：利用率が何パーセントであれば、人件費等の固定費が賄えるのかといったラインは設定されていないのか。それが無ければ利用率の評価ができない。利用料を下げても利用率を上げるなど採算性を考えないと税金の持ち出しが増え、使う人以外の市民にメリットがない。利用を増やしたりネーミングライツを導入するとか、収益を上げる方法を考える必要がある。

事務局：御意見は理解できる。公共施設の運営は利用料で収支を黒字にする構造にはなっていない。その一方で、利用率が低くていいとはならない。市民に理解してもらうには、多くの人に利用してもらえているという状況を示すしかない。そのために何をすればいいのか、設備の更新などの投資に見合うだけの利用をしてもらう必要がある。利用率が何パーセントなら適正なのかというのは示せないが、利用率を上げていくのが我々の使命だと考える。

委員：自分が研究団体として使用を考えた際に使えないと判断した理由は Wi-Fi 環境。Wi-Fi 環境が整っていればもっと使いたいという団体はある。駐車場が完備され、駅からも近く、全道から人を呼ぶには絶好の場所。もし投資するのであれば、Wi-Fi 環境を充実させて、それを PR していけば稼働率も上がる。そうすればレストランの稼働率も上がる。

事務局：Wi-Fi 環境については昨年 4 月からすべての会議室と音楽堂のアーティストサロンに整備した。無料で提供できる、一般的な Wi-Fi なので、使う際の用途によっては仕様を満たして無い場合が、通常の仕様であれば問題ないので、今後は PR に努めたい。

委員：コンサート室で Zoom (ズーム) で外部と繋ぐ場合は、業者を呼んで数十万円の費用がかかるので、利用をあきらめる団体が多くあるので、是非、検討してほしい。

委員：コンサート室で Wi-Fi が必要な場合は、有線で引き込んで使用できる環境にはないのか。

事務局：安定的な通信環境のためにはコンサート室内にもモデムを置く必要がある。新年度、何か方法がないか検討したい。

議長：音楽会には必要ないが、講演会などは使える環境になれば利用が増える。学校の利用が令和 4 年度より令和 5 年度が減っている。市内の小中学校がもっと合唱コンクールなどを気軽に企画できるようになれば

良い。

委員：キタラなどではジルベスターコンサート（大みそかに行われるクラシックコンサート）をやっている。ここでも数年前に提案したが、断られた。昨年アニバーサリーコンサートに出演した際は、来てくれたみなさんに本当に楽しかったと言ってもらった。市民に気軽に来てもらえるような行事があるといい。高齢者が増えているので、夜間より昼間、週末より平日の方が来る。話は変わるが、音楽堂を利用した際、楽屋とコンサート室の生の音にずれがあった。使用する側としては大事なことなので対応してほしい。

委員：若い人、学生、こどもが気軽に使えるといい。例えば、2日前に予約が入っていなければ、30分単位ですごく安く貸すとかするとおもしろい。SNSやYouTubeなどで音楽を残したい、発信したいという子はいっぱいいる。空いている時間を有効活用して、そうした活用ができれば魅力的なまち、施設になる。若い人が住みやすいまちになる。

事務局：建物の格調を高めるのと同時に敷居を低くする、両方が必要。話を聞いて検討しなければと感じた。

((1) 令和5年度上半期旭川市大雪クリスタルホール利用状況について 承認)

議長：議事(2) 令和5年度自主文化事業実施状況について、事務局から説明願います。

事務局：(2) 令和5年度自主文化事業実施状況について説明。

～会議資料2ページ～

議長：事務局から、(2) 令和5年度自主文化事業実施状況について説明がありました。御意見がありましたら御発言をお願いします。

委員：私もアニバーサリーコンサートに出演した。出演者としても楽しかったが、来場者からもピアノ、合唱などいろいろなジャンルの音楽が聴けて良かったという話をたくさんいただいた。そこで合唱を聞いた方が、その後、私たちの演奏会に来てくれたり、その後の演奏会の来場にもつながっている。とても楽しい企画で、市民が気軽に聞ける、出演者にとってもここで演奏できる大切な機会なのでこうした催しをいろいろ企画してほしい。

委員：こうしたコンサートに参加する団体は、どのように選出しているのか。広報などで募集しているのか。

事務局：市民広報やホームページで募集している。18組（事務局注：発言誤り、正しくは22組）の応募があり、その中で過去に出演の有無やジャンルの重複などを考慮し、時間の都合もあり10組に絞って選考している。

委員：参加するにあたって費用はかかるのか。

事務局：費用はかからない。

議長：クリスタルホールとしては、様々な角度から市民に音楽に興味関心のすそ野を広げていく地道な取り組みをしている。

委員：レア・デザンドレ&トーマス・ダンフォードの人数が少なかったのは、3連休だったのが一番の原因ではないか。日にちの設定を考慮するといいのでは。

事務局：食べマルシェの時期でもあったが、海外から来ており、他都市での講演もあったため、たまたま旭川が3連休にぶつかった。音楽に詳しい方には有名だが、一般の方に広く知られているかということも要因としてあった。もっと関係団体にPRして呼びかけるといった取り組みが必要だったと反省している。今後はより多くの方に来てもらえるよう取り組みたい。3連休というのも理由としてあったと思う。

議長：声楽界では世界的にとっても有望な、まさか旭川にこの人がくるのかということで、びっくりした。それだけ世界的に認められているという宣伝がもう少し必要だったのかもしれない。一般市民、声楽関係でなければこの人のことは分からないので、来にくかったのかもしれない。ギター、フラメンコなどは分かりやすいが、リュートと言われても古楽なのでなじみがなかったかもしれない。日程、食べマルシェなどいろいろな要因があったと思う。札幌、東京であれば満席になる。自主文化事業の組み方として、音楽的なレベルの高さを担保するという意味では非常にいい選択だと思う。

委員：アニバーサリーコンサートは評判が良かったようで、出演者、来場者とも無料とのことだが、これは30周年だからやったのか。毎年あるのか。

事務局：毎年、ウインターコンサートを市民発表コンサートとして、公募、無料でやっている。ポスターも手作りでお金をかけずにやっている。これとは別に今年は30周年ということで、広告を出したりしてPRに力を入れた。クリスタルホールに思い入れのある方も多く、たくさん応募いただき、よりレベルの高い演奏家が来た。今後も費用をかけずに魅力的な事業を作り上げることだ大事なので、こうしたことができ

ないか検討したい。

委員：こうしたコンサートが広告宣伝になるので、今回はピアノ、今回は民謡などと、いろいろなジャンルでやると、利用が増えるのではないか。

((2) 令和5年度自主文化事業実施状況について 承認)

議長：議事(3) 令和6年度自主文化事業計画について、事務局から説明願います。

事務局：(3) 令和6年度自主文化事業計画について説明。

～会議資料3ページ～

議長：事務局から、(3) 令和6年度自主文化事業計画について説明がありましたが、御意見がありましたら御発言をお願いします。

委員：冬休み子ども音楽講座とあなたにエールについては冬に企画されているが、小学校は冬休みが短くなっており、子ども音楽講座については新学期が始まる直前になる。夏休みは長くなっているの、子供たちにとっては夏休みの方が参加しやすい。2月には発表会をする団体が多く日曜日は埋まりやすいので、10月、11月に実施できると良い。そうすると自分の発表会の前に試すことができる。

事務局：日程はコンサート室の空き状況などを見て設定しているが、御意見を踏まえて検討したい。

委員：自主文化事業の公募型企画公演は今はやっていないのか。

事務局：現在はやっていない。コロナ禍前はやっていたが。(事務局注：平成元年度が最後だったが、コロナにより中止となった。)

委員：計画(案)となっているが、確定になるのはいつか。

事務局：新年度予算(案)が議会で審議中であり、そこで議決されれば確定。講演事業は日程の都合上、相手方に打診はしている。

委員：自主文化事業は8月から始まっているが、4～7月に何もやっていないのはもったいないと思う。そこに入れられない理由は。

事務局：講演型の事業はチケット、ポスターの制作など準備等があり、新年度に入ってから作業になるので、これぐらいの時期になってしまう。

((3) 令和6年度自主文化事業計画について 承認)

議長：議事(4) その他の事業について、事務局から説明願います。

事務局：(4) その他の事業について説明。

～会議資料4ページ～

議長：事務局から、(4) その他の事業について説明がありましたが、御意見がありましたら御発言をお願いします。

委員：演奏会でコンサートボランティアをお願いすることがある。貸館公演での活動が少ないことに驚いた。受付、クロークなど助かっているが、自分たちのものとは別にボランティア用に進行表を作ったり、打合せに時間がかかったり、当日細かいところが伝わっていなかったりしているの、そうしたことが解消されるとお願いする団体も増えると思う。

委員：ボランティアは無償なのか。

事務局：1回当たり500円支給している。

委員：ボランティアではなく、対価を払ってちゃんとした人を雇うべきでは。来場者はボランティアかどうかは分からない。プロだと思っているので対応をしっかりとできないと不満が出る。不満を言われたボランティアもおもしろくない。ちゃんと対価を払ったうえで、公演のオプションとして料金を取る形にした方が良い。毎週、市の施設に行っているのだが、情報誌の存在を知らなかった。施設にはたくさんチラシなどが置かれている。デジタルサイネージにした方が良い。その方がコンサートについても魅力的に伝わるし、記事を作る手間もそれほどでもない。紙代、印刷、配布に係る人件費もかかるし、映像の方が魅力が伝わる。

事務局：現在の方法がアナログだとは思う。今、市全体としてデザインのアドバイザーをお願いして、より分かりやすい効果的な広報宣伝について考えている。現状はまだまだだが、そうした視点をもって対応していきたい。デジタルサイネージについては予算の問題もあり今後の検討課題としたい。

委員：実際に情報誌を配布してる人がいる。多くの箇所に1年12回、車で回ることを考えると、大変なコストになる。市の先頭を切って導入してほしい。

委員：デジタル化もしていく一方、利用者、来場者はかなり高齢化しているので、紙媒体も残してほしい。

事務局：効率性、経済性も意識しなければならないが、デジタル化に取り残される人のことも考えなければならない。

((4) その他の事業について 承認)

6 その他

議 長：6 その他について，事務局，委員より何かありますか。

事務局：特にありません。

7 閉会

議 長：みなさんの活発な御議論に感謝します。以上をもちまして，令和5年度第1回旭川市音楽堂等運営協議会を終了いたします。